



IXIL ラシッサUD 上吊方式引込み戸 自閉機能(水平式) 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲警告



●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

- (1)ペースメーカー等の体内埋込型機器
- (2)人工心肺等の生命維持用機器
- (3)装着型の心電計等

▲注意

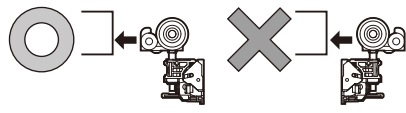
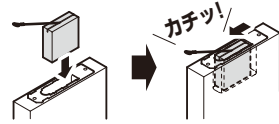


- 吊車をカチッとするまで入れてください。扉が脱落します。
- 複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるため、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすため、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるため、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

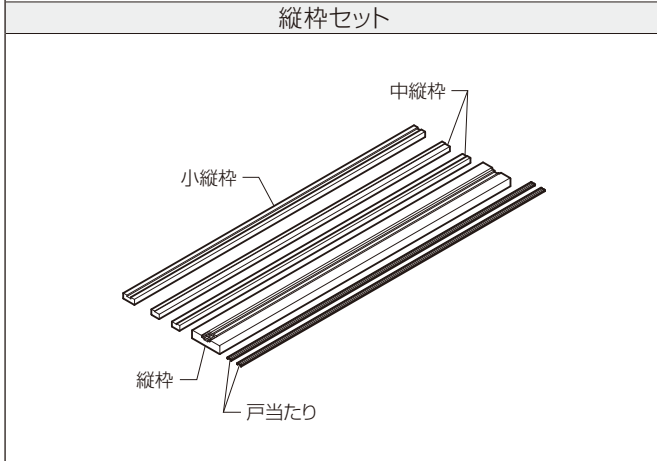
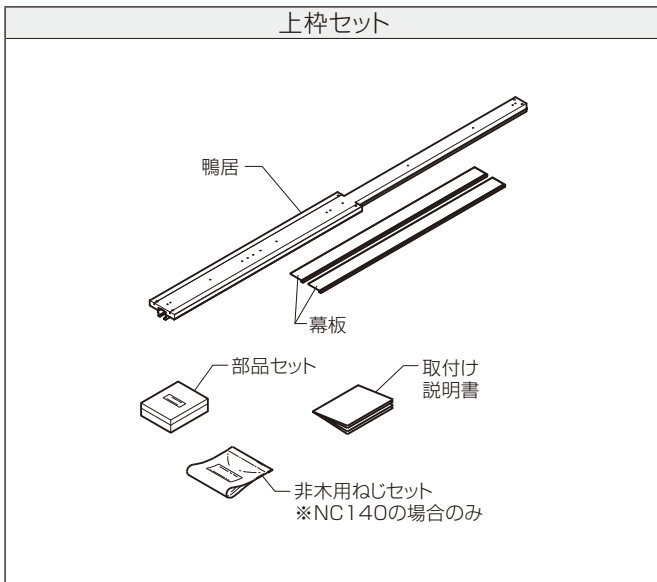
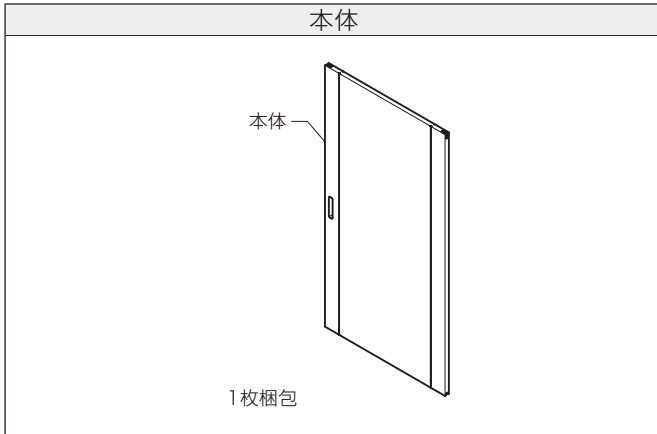
No.	チェック内容	
1	戸先側にダンパーのついた吊車を入れましたか？	<input type="checkbox"/>
2	戸尻側の吊車はフェルトを内側にして入れましたか？ 	<input type="checkbox"/>
3	ゼンマイ装置をカチッとスライドさせましたか？ 	<input type="checkbox"/>
4	自閉することを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>



このマンガはフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



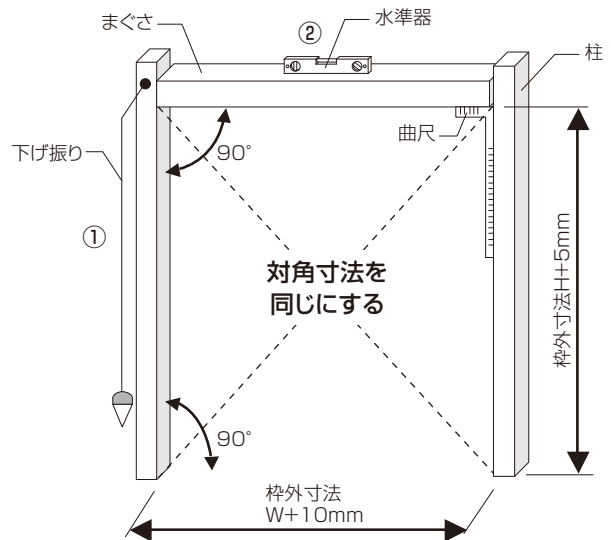
■開口部の作り方

開口施工上のお願い

- 製品不具合となるため、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下りとなるため、本体40kg/枚の強度を確保してください。
- 小壁は枠を取付けてから施工してください。
- ガイドピンを取付けるため、以下の床の場合は施工箇所に下地材を入れてください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
- 施工不良となるため、躯体が軽量鉄骨の場合は必ず補強(※)をしてください。
※開口補強材、木枠45mm以上

①開口は、枠外寸法に対して高さ：+5mm、幅：+10mmとしてください。

②開口は必ず、水平垂直にしてください。



■対応壁厚について

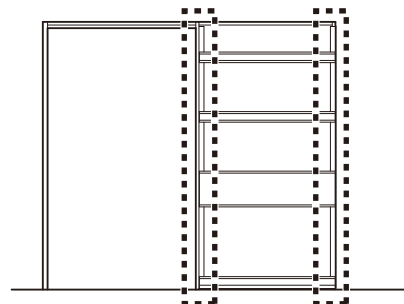
(単位：mm)

	見込み	対応壁厚
ノンケーシング	NC140	101~115
	NC156	116~130
	NC171	131~145
	NC180	146~160

●スチール戸袋ユニット アングルの取付け (スチール戸袋ユニット使用の場合のみ)

枠組み立て前に準備が必要です。

スチール戸袋ユニット同梱の取付け説明書①参照して中縦枠・小縦枠にアングルを取付けてください。

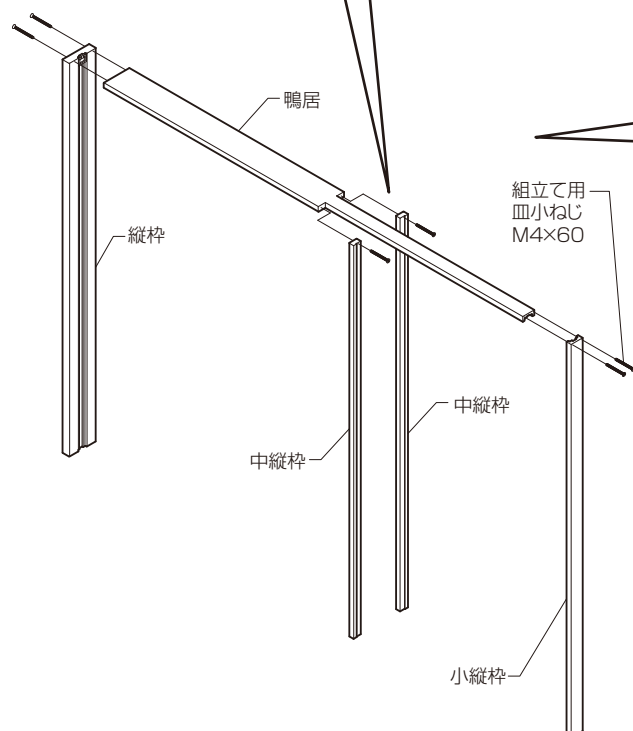
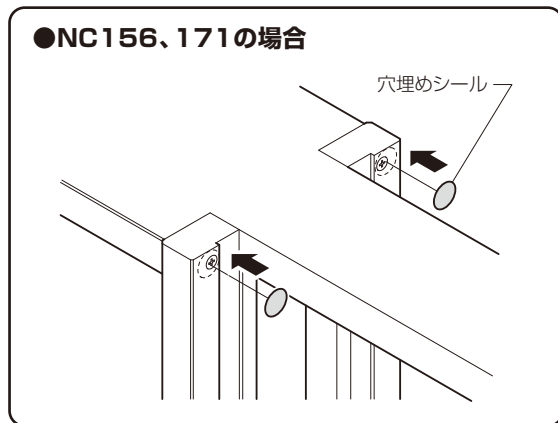


■ 枠の組立て(吊車の挿入)

枠組立て上のお願ひ

- 施工は、枠の垂下がり・ゆがみとなるため同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるため、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- 吊車は正しい向きに入れてください。

- ① 鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してください。
- ② 下図のように同梱のねじで枠を組立ててください。
※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ③ NC156、171は組立てねじ部に穴埋めシールを貼付けてください。

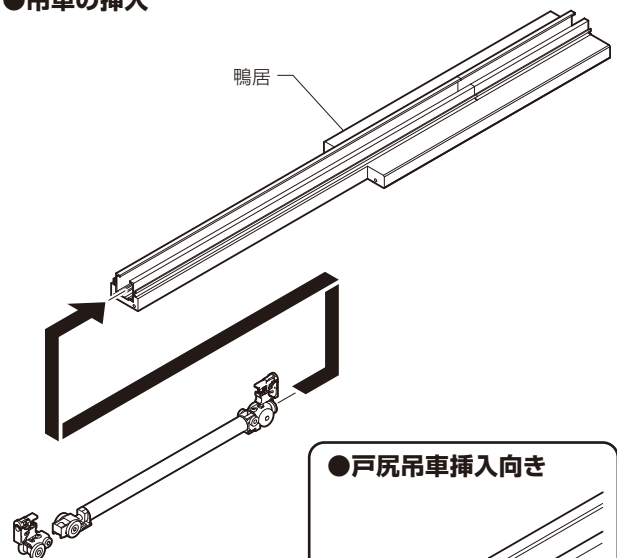


■ 枠部品セット

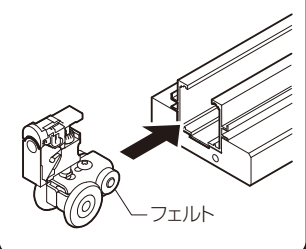
		入数
枠組立用皿小ねじM4×60		6
鴨居取付け用低頭2条ねじφ4×50		12
縦枠取付用DNビスφ3.8×50		6
固定ガイドピン		1
ガイドピン固定用皿タッピンねじ1種φ3.5×20		2
ガイドピン用カールPCプラグ6×25(黄)		2
戸先吊車		1
戸尻吊車		1
ダンパーストッパー		1
ワイヤーフック		1
ゼンマイ装置		1
全開キャッチ		1
穴埋めシールシート		1

※接着剤、かくし釘は現場手配。

● 吊車の挿入



● 戸尻吊車挿入向き



※作業しやすいように鴨居レールは天地逆にしています。

3 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 組立て後の移動は必ず複数人で行ってください。
- 製品脱落・開閉不良になるため、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
- 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- 本体作動不良になるため、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- 軽量鉄骨+開口補強材納まりは、同梱のドリルねじを使用してください。
(ドリルねじ同梱：NC140)

※：現場手配

- ① 枠と躯体の間にかい木をいれて縦枠、鴨居を指定のねじで固定してください。
- ② 中縦枠は、接着剤(※)を塗布して、かくし釘(※)で固定してください。

※現場手配

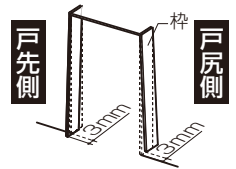
●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

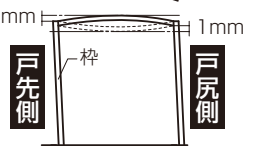
横方向の倒れ



奥行き方向のねじれ

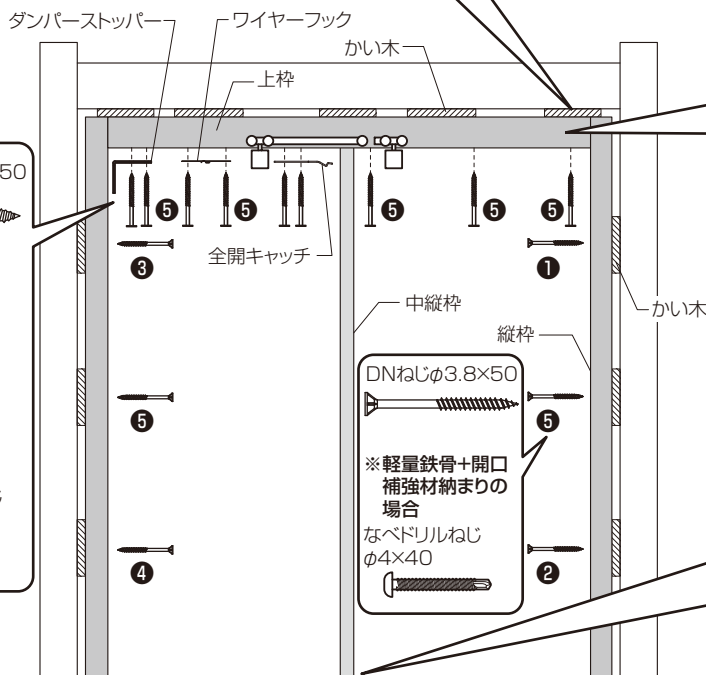
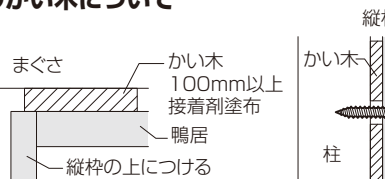


枠のタイコ・ツツミ



※範囲を超えると作動不良となります。

●かい木について



低頭2条ねじφ4×50

※軽量鉄骨+開口補強材納まりの場合

部品固定：
低頭ドリルねじ
φ4×35

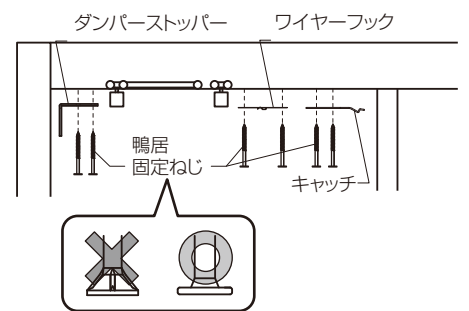
レール固定：
トラスドリルねじ
φ4×35

DNねじφ3.8×50

※軽量鉄骨+開口補強材納まりの場合

なべドリルねじ
φ4×40

●鴨居の部品固定について



戸先側

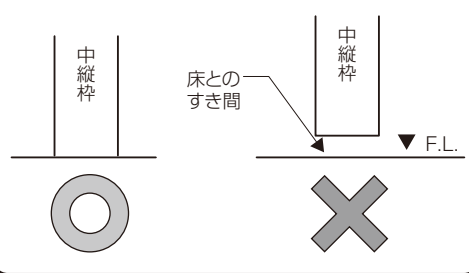
ワイヤーフック

戸先側

全開キャッチ

向きに注意してください。

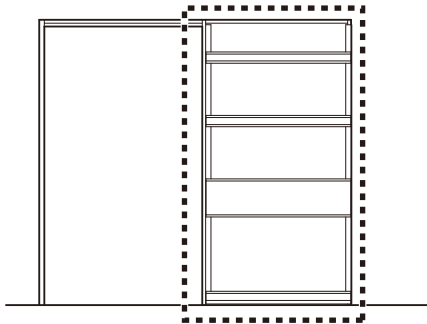
●中縦枠固定時の注意点



4 スチール戸袋ユニットの取付け

■スチール戸袋ユニット 横パネル・ブラケットの取付け (スチール戸袋ユニット使用の場合のみ)

スチール戸袋ユニット同梱の取付け説明書2以降参照してスチール戸袋ユニットを完成させてください。

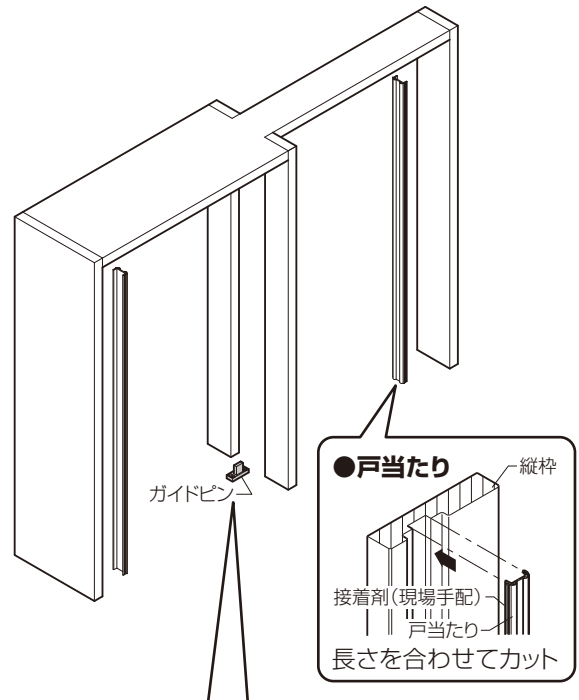


5 床部の施工(ガイドピン)

ガイドピン施工上のお願ひ

- コンクリート下地に取付ける場合は、同梱のコンクリートプラグを使用してください。(下穴φ6×25以上)

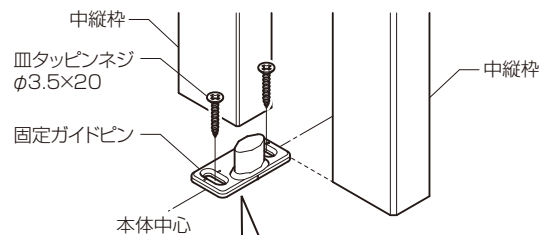
- ①ガイドピンを床の指定の位置に固定してください。
- ②戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。



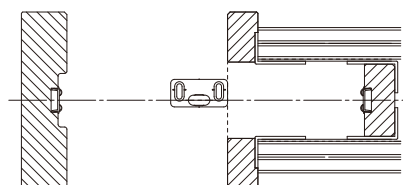
●固定ガイドピンの場合

固定ガイドピンを皿タッピンねじφ3.5×20で床材に固定します。

※本体の開閉操作に影響が出ますので、図にしたがって取付けてください。



中縦枠面にガイドピン端部が合う位置で取付けてください。



■中縦枠取付けガイドピンの場合

部品に同梱の取付け説明書をご覧ください。

6 本体の吊り込み

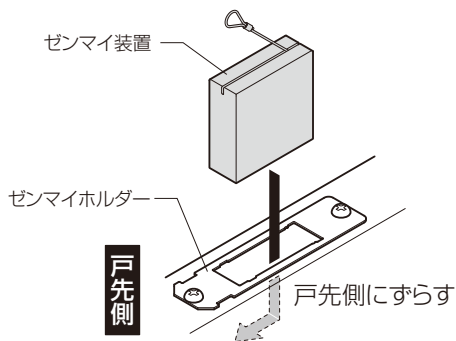
▲ 注意



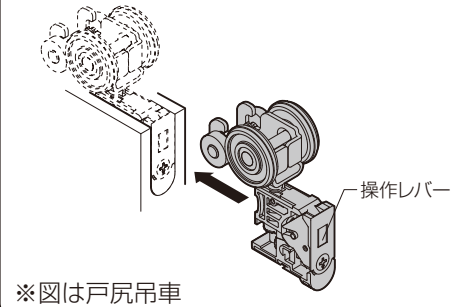
- 吊車をカチッとするまで入れてください。扉が脱落します。
- 複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

- ① 本体上部にゼンマイ装置をはめ込んでください。
- ② 戸尻側の吊車を本体に取付けてください。
- ③ 本体を回転させながら本体下部の溝にガイドピンを入れ、そのまま小縦枠側に押し込んでください。
- ④ 本体を少し傾けてワイヤーを引き出して枠に引っ掛けてください。
- ⑤ 戸先側の吊車の取付けてください。

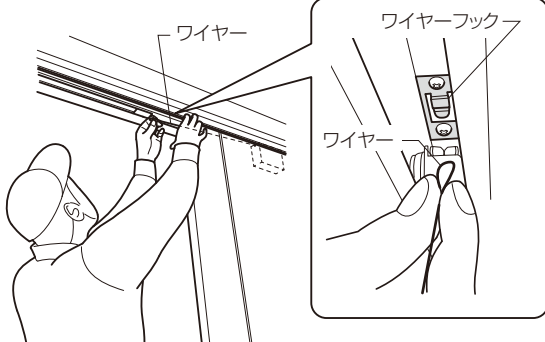
●ゼンマイ装置の取付け(手順①)



●吊車の取付け(手順③⑤)

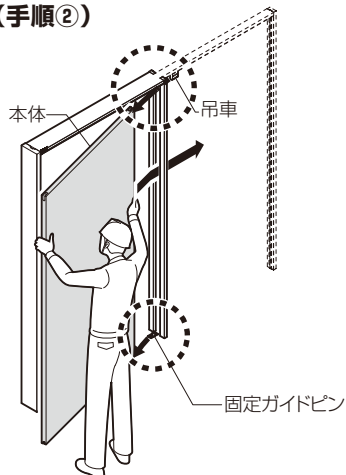


●ワイヤーの固定(手順④)



※ワイヤーは1300mm以上引き出さない。

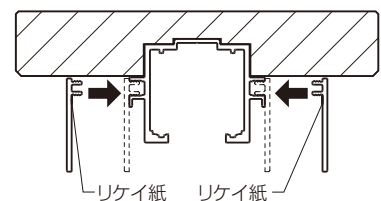
●本体とガイドピン(手順②)



ワイヤーを引き出す際
本体を少し傾ける

●幕板の取付け

- ① 樹脂幕板を切断してください。
- ② 幕板のリケイ紙をはがしてレールにすき間なくはめ込んでください。



7 本体側の調整について

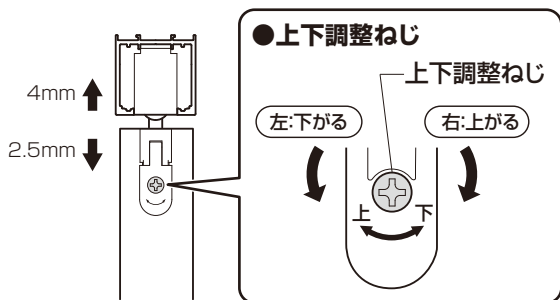
本体調整上のお願

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部はずれ、引戸下部のこすれ)
- 電動ドライバーは使用しないでください。

● 建付け調整について

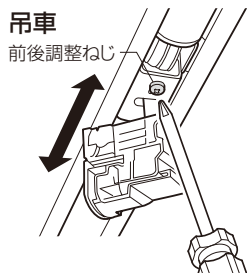
■ 上下調整

上4mm、下2.5mmの調整が可能です。
戸先・戸尻吊車の上下調整ねじを回して調整してください。



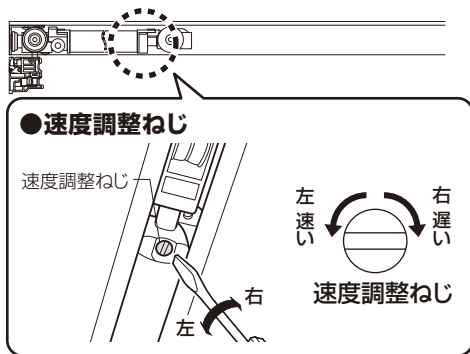
■ 奥行調整

前後それぞれ2mmの調整が可能です。
戸先・戸尻吊車を本体から引き出し、各吊車の下面にある前後調整ねじをゆるめ、前後位置を調整します。調整が終わったら前後調整ねじを締め込みます。



■ ブレーキカの調整

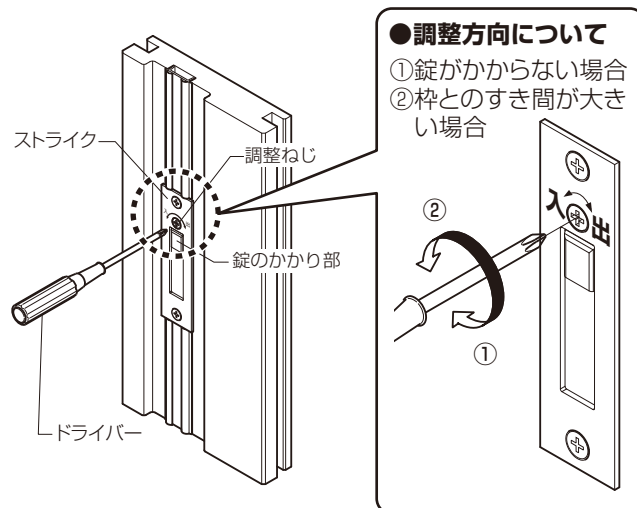
ブレーキ作動区間で本体が閉まる速さを調整できます。
戸先吊車ユニットを本体から引き出し、速度調整ねじを回すと調整できます。
※左：速くなる(ブレーキ力が弱くなる)
右：遅くなる(ブレーキ力が強くなる)



8 枠側の調整について

● 引戸錠のかかり調整

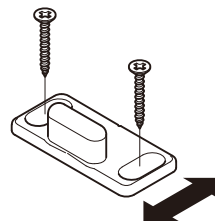
- ① 錠がかからない場合、右に回してください。
 - ② 枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。
- ※美和ロックFG3D錠のストライクには、錠のかかり調整機能は付いていません。調整が必要な場合は本体の上下・左右調整で対応してください。



■ ガイドピン位置の調整

● 固定ガイドピンの場合

ねじをゆるめて前後に調整して固定してください。

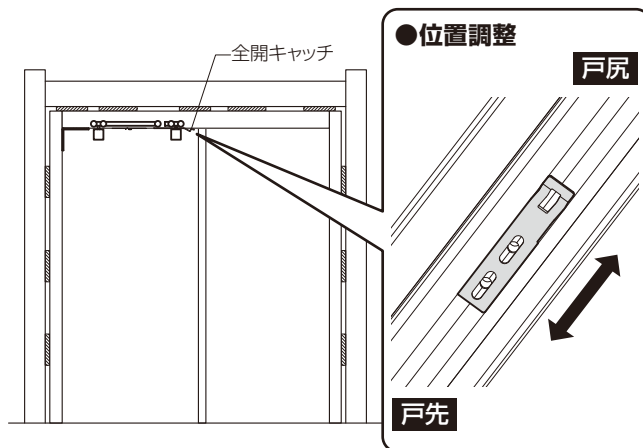


● 中縦枠取付けガイドピンの場合

部品に同梱の取付け説明書をご覧ください。

■ 全開キャッチの位置調整

ねじをゆるめて前後に調整して固定してください。

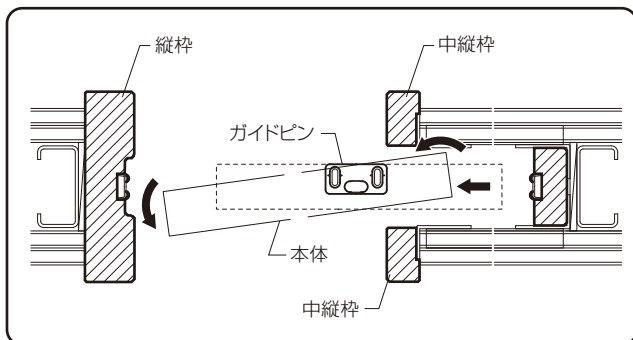
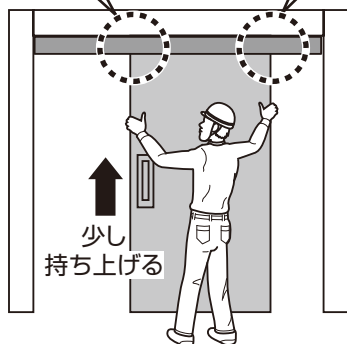
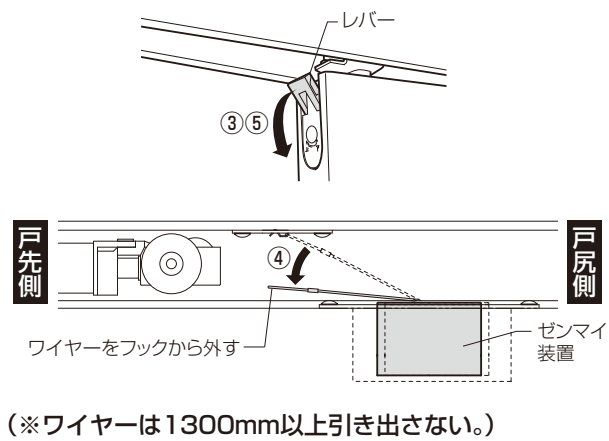


⑨本体の取外し方法

●本体の取外し方法

- ①幕板を外してください。
- ②本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにしてください。
- ③戸先のレバーを起こして引き出します。
- ④ワイヤーをフックから外します。
- ⑤戸尻吊車のレバー起こして引き出します。

●戸の取外し方法



⑩困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



●スマホ画面

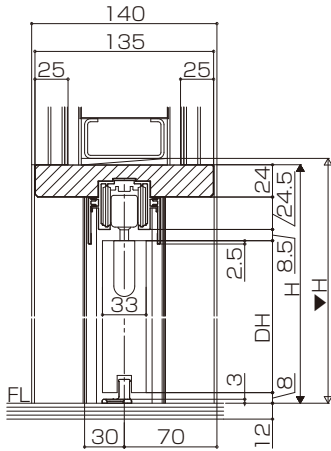
○お客さまサポート

- ▲ 安全にお使いいただくために ⊕
- ? よくあるお問い合わせ ⊕
- ✓ お手入れ・お掃除 ⊕
- 📄 取扱説明書 ⊕
- 🔧 調整方法 ⊕
- ! 故障かなと思ったら ⊕
- ✂ 施工説明書 ⊕
- 🛒 部品購入 ⊕
- 📞 お問い合わせ ⊕
- 🔧 修理のご依頼 ⊕
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 ⊕

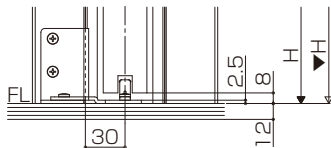
■納まり図

■上吊方式引込み戸 (NC140)

●縦断面図

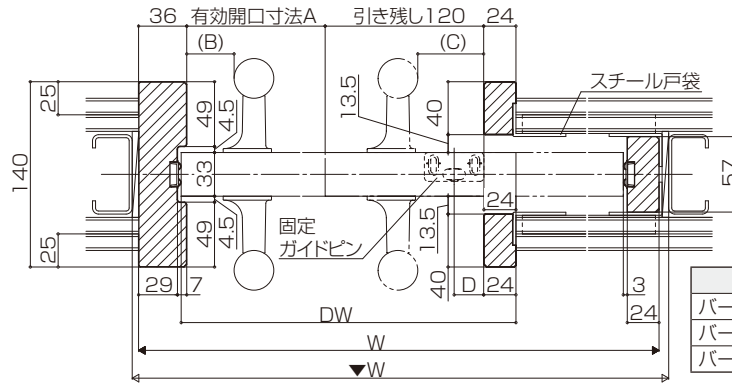


●固定ガイドピン



●中縦枠取付けガイドピン

●横断面図



有効開口寸法

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W20 (2011)	900
W22 (2211)	1000
W26 (2611)	1200

算出式: $A寸法 = (W - 211) / 2$
 $DW = (W + 85) / 2$

	B寸法	C寸法
バーハンドル	36	50
バーハンドルD型	33	57
バーハンドルR型	31	55

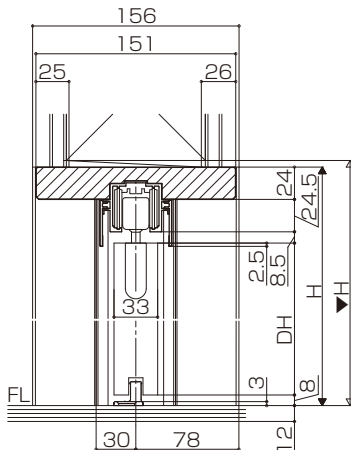
※この図は両側バーハンドルの例です。
 ※この図は固定ガイドピンの例です。
 ※この図はスチール戸袋を使用した例です。

ガイドピン位置

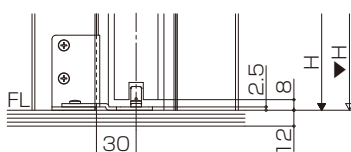
ガイドピン種類	D寸法
固定ガイドピン	22.5
中縦枠取付けガイドピン	10.5

■上吊方式引込み戸 (NC156)

●縦断面図

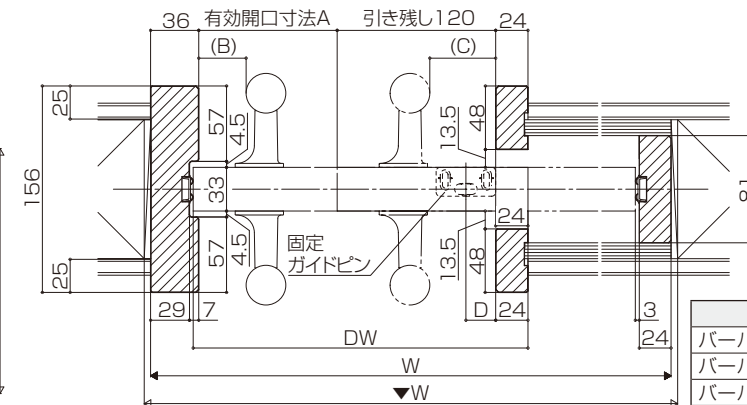


●固定ガイドピン



●中縦枠取付けガイドピン

●横断面図



有効開口寸法

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W20 (2011)	900
W22 (2211)	1000
W26 (2611)	1200

算出式: $A寸法 = (W - 211) / 2$
 $DW = (W + 85) / 2$

	B寸法	C寸法
バーハンドル	36	50
バーハンドルD型	33	57
バーハンドルR型	31	55

※この図は両側バーハンドルの例です。
 ※この図は固定ガイドピンの例です。

ガイドピン位置

ガイドピン種類	D寸法
固定ガイドピン	22.5
中縦枠取付けガイドピン	10.5

MEMO

MEMO

MEMO
